

「社会資本整備重点計画」(案)の6月からの変更点

6月27日社会資本整備審議会・交通政策審議会との比較

厳しい経済状況

厳しい経済状況(特に地域)に関する現状認識、対応等について、「はじめに」及び「第1章 社会資本整備事業を巡る現状と課題」に記述を追加。

- ・100年に一度と言われる世界的な金融危機を契機に、経済は厳しい状況。
- ・特に、地域の経済は非常に厳しい状況。
- ・社会資本整備に当たっては、将来の発展を見据えると同時に、足元の経済や雇用の状況等を踏まえて、機動的かつ戦略的に実施。

地方

各地方ブロックの現状等について、検討が進んだため、それぞれ数行の記述を追加。また、地方分権改革の議論を踏まえ、国と地方の適切な役割分担について一般的な記述を追加。

道路

道路の「新たな中期計画」(20年12月取りまとめ)を受け、道路事業・交通安全施設等整備事業(本文・指標等)について、記述を追加。

その他

- ・空港整備事業: 指標を「大都市圏拠点空港の空港容量の増加」に変更。
- ・港湾整備事業: 港湾の基本方針の改訂を受け、表現を適正化。
- ・治水事業等: ゲリラ豪雨の頻発等の動向を踏まえ、局地的な大雨の予測等について記述を追加。
- ・観光圏の整備: 観光立国推進基本計画で定められた目標を新たに追加。
- ・その他(現況値の時点修正等)。